

学習日誌

7月15日 (金)	講師	① 飯島政敏他 ②下田雅子 ③松澤鷲郎 ④大田原好男
出席者数	50名	記録者 3年3班 岡林光志
講座名	復活発表会1；内容は以下(1)～(4)	
プログラム担当者	大航海グループ	
時間・場所	13:30～15:40、第1集会室にて	

【学習内容】発表概要と感想

(1) 「新型コロナウイルスへの知的好奇心」(3年：飯島政敏他)

厚生労働省発表の生データを分析した結果を発表された

- ① 学校ではウイルスに関する学びは殆どない
- ② 感染者数の推移(第1波～第6波)
- ③ 感染データ収集と分析方法
土日は少ない。平日も都道府県により曜日に偏りあり

【感想】生データを分析されたことが貴重です。何と云っても第7波が心配です



(2) 「家持の雅 大伴家持と万葉集」(13年：下田雅子)



- ① 「昭和万葉集」全20巻の紹介(戦時中の歌に涙)
- ② 万葉集にある大伴氏一族の歌の紹介(旅人、坂上郎女、家持)
- ③ 家持の生涯と歌

- ・大納言大伴旅人の子、21歳で内舎人、29歳で越中国守(最盛期)、聖武天皇逝去で不遇に、多賀城にて68歳で病死
- ・42歳に詠んだ歌「新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事」が万葉集最後の歌、かつ家持最後の歌になった

【感想】42歳以降の家持の人生はどのようなものだったのでしょうか?

大伴旅人の讃酒の歌も印象に残りました。

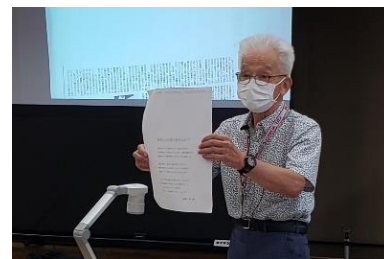
「駿(しるし)なき物を思はずは一坏(ひとつぎ)の濁れる酒を飲むべくあるらし」

(3) 「日本経済新聞に見る日本経済」(15年：松澤鷲郎)

- ① 「資本主義」はカルピンの5%金利認可から始まった
- ② 日本の低金利政策では経済は良くならない
2012年第2次安倍内閣発足時から10年間の低金利政策の結果

- ・日経平均株価：10,000円⇒26,000円(未だ最高値に届かず)
- ・円ドル相場：80円⇒139円(大幅な円安)
- ・国債1,000兆円(半分は日銀保有) ⇒⇒金利を上げると日銀が破綻する

【感想】発表内容には説得力がありました。しかし日本の財政の将来を思うと背筋が寒くなりました。



(4) 「目久尻川を歩こう」(5年：大田原好男)



- ① 源流は? 白髭弁財天社あたりの湧水?
- ② 川の名前の由来は? 諸説あり。
- ③ 相模川に合流するまでに架かる橋について
 - ・「第三水源橋」か「まえだばし」まで鮎の遡上が見られる
 - ・「内藤橋」「古矢橋」など個人名の橋がある
 - ・綾瀬市では流れに沿ってサイクリングロードになっている

【感想】下流では田園地帯を長閑に流れているとのことで、一度行ってみたいとなりました。